

2023
7
July
Vol.88

SNSで旬な情報を
投稿しています



JAしまねびより

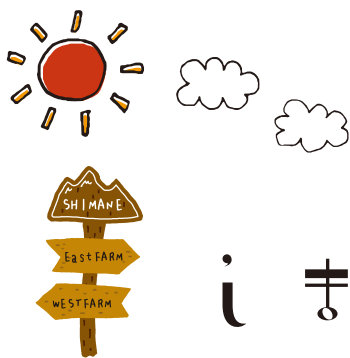


特集
直売所にてかけよう

来月の
外勤日は **8月19日(土)**

JALしまね 出雲地区本部版

可ーつけた
しまねのファーマーズ
Shimane farmers
ムラー フランク
Müller Frankさん
[隠岐どうぜん地区本部]



し ま ね の フ ァ ー マ ー ズ

Shimane farmers



常時10種類近くの野菜が栽培されている農園ととんがり屋根の鶏舎

ムラーズファーム

ムラー フランク

Müller Frankさん(49歳)

今月は隠岐どうぜん地区本部。海士町で農業と化学肥料を使わずに野菜作りに取り組む「ムラーズファーム」のムラー・フランクさんにお話を伺いました。

**多品種野菜にニワトリとヤギ！
多様性あふれるにぎやかな農園！**

約600万年前の火山活動でできた島、隠岐島前の海士町（中ノ島）。その北東部に位置する宇受賀地区に、ムラーズファームはあります。

農業や化学肥料を使わず、年間40〜50種類もの野菜を作っているのはドイツ人のムラー・フランクさん。移住してから約15年、もとは雑木林だった土地をコツコツと開墾し、生産力の高い農園を作り上げてきました。JAをはじめ、島内の各商店に出荷する野菜は「おいしくて長持ちする！」と評判です。

農園にはズッキーニやネギ、ダイコン、カブ、キャベツの他、バターナツカポチャなどの珍しい品種も含め、常時10種類近くの野菜が栽培されています。

畑の脇には、ムラーさんが自分で建てたとんがり屋根の鶏舎があり、平飼いのニワトリが約90羽、元氣よく走り回っています。鶏舎の逆側の奥には、山の斜面を切り拓いて作った階段状の畑にサツマイモの長い畝がずらり。その向こうにも農地を拡大予定で、開墾中のエリアには40頭のヤギが放たれ、のんびり草を食む姿が見えます。雑木林を農地へ変えるプロセスでは、草を食べてくれるヤギの存在が重要なのだとか。

「子どもの頃から食べものを自分で作ることに興味があった。でも、両親の勧めで大工になり、ドイツの他、イギリスやスイスで働ながら『いつかは農業をやりたい』と夢見ていた」と話すムラーさん



取材時にはダイコンなどが収穫を迎えていました

その後、縁あって海士町に移住。豊かな自然とともに生きる島の暮らしに魅了され、この環境なら自分ができる！と、有機農業への挑戦を始めました。



タマゴを産み、土づくりも助けてくれるニワトリはムラーズファームにとって欠かせない存在です

**おいしい野菜の秘密は、
精魂込めてつくってきた「土」**

島の飲食店や宿の料理人から絶賛されているムラーさんの野菜は、島で唯一のホテル「Entôt」でも使われています。その味に感動した観光客が、本土へ帰るフェリーに乗る前にわざわざ畑に立ち寄り、野菜をお土産に買って帰ることも。

なぜ野菜がおいしいの？と聞くと、「土のおかげだよ！」と胸を張るムラーさん。表面約7センチの浅い層だけトラクターで耕して、あとは畑の中に空気を入れるようにフォークを入れ、丁寧に手で耕していきます。この耕し方をする中で土の中の微生物が増えるのだそう。ムラーさんは「うちの野菜が長持ちするのは土が豊かだから。農業や化学肥料を使わないことだけが大事なじゃなくて、どれだけの土の面倒を見ているかが野菜の味や日持ち



目でも楽しませてくれる多種多様なムラーズファームの野菜

を左右すると思う」と話します。

飼っているニワトリは、タマゴを販売する他、鶏ふんを有機肥料として使っています。島内で生産される牛ふん堆肥も購入し、土づくりに活かしています。ただ、農薬を使わない栽培法は手間がかかるのも確かです。ムラーさんは「例えば今年の春は天候のせいか初めてナメクジが発生したので、専用の手袋をして丁寧に取り除いた。毎年色んなことが起きるけど、すべてが経験。とにかく日々勉強だね」と話します。

ファーマーにもビジネスマインドは必須。 販路開拓やファン作りも積極的

ムラーさんは販路開拓や販売促進にも熱心です。島内ではJ Aや主な商店、宿、飲食店などに出荷。サンプルを送るなどしてこまめに営業し、隠岐の島町のスーパーや松江市のスーパーなど島外の販路も確保しました。また、インターネットでは、産直野菜の通販サイト「食べチョク」での販売に力を入れています。ムラーさんは「多品種の野菜を作っているのは、食べチョクで売る際に箱に詰めて見栄えが良いように。珍しい野菜も入れるとサプライズがあって良いですよ」と話します。今は毎週、定期的に買ってくれるお客様も増えてきており、応援してくれるファンが増えていると実感していると言います。

今が旬のズッキーニ。実は海士町で最初に栽培したのはムラーさんでした。移住当初、まだ島ではズッキーニを売っておらず、食べたくて自分で作ったのが始まり。するとだんだん知名度が広がり、他の生産者も栽培するようになって、今では人気野菜の一つに。野菜を上手にPRして野菜好きが増えれば、島の食が豊かになると同時にムラーズファームのファンも

増える。そんな好循環を目指して、イベントやSNS

を利用して今後報発信に今後力を入れていく予定で、通販サイトも制作準備中とのことです。

隠岐の有機野菜のパイオニアでありたい。 原動力はパッション

他の生産者と助け合う「おたがいさま」は島の文化。ムラーさんも地域との繋がりを大切にしています。「農園の土地やスタッフ用のシェアハウスも地元で借りている。地域の人が農作業を手伝ってくれているのはとてもありがたい。本当にたくさん助けてもらっているから、できることで恩返しをしています」とムラーさんは話します。

仕事の充実ぶりがうかがえる一方で、とても忙しいそうなるムラーさん。リラックスの時間もすべて農園にあると言い、スタッフとのお喋りやBBQが良い息抜きになっています。

「自分にとって農業は人生そのもの。夢見ること、食べることを考えること…生きることにすべてがここに詰まっている。だから忙しくても頑張れる。原動力は、パッション(情熱!)」と笑顔を見せました。



農園のスタッフたちとお喋りするムラーさん



ズッキーニを収穫し笑顔のムラーさん

目標は、隠岐4島で初の有機JAS認

証を取得すること。認証のために使用する資材にも条件があり、コストも手間もかかりませんが、これからも有機にこだわると決めています。ムラーさんは「有機栽培は大変だけど、認証されて島でブランド化していけたら希望はある！野菜以外にも、例えばヤギのミルクやチーズ、ソーセージ作りなどやりたいことはいっぱい。理想の農園までまだ途中だけど、仲間を増やして、少しずつ実現していきたい」と語りました。



理想の農園を目指すため、今後もムラーさんの挑戦は続きます

旬野菜・ズッキーニの美味しい食べ方

プチっと情報!

ズッキーニはカボチャの仲間で、油との相性も抜群。パベキューで焼くだけでもおいしいですが、衣をつけて揚げるのもイチオシ!フライにはヨーグルトソースをかけるのがムラーズファーム流。ヨーグルトに塩と蜂蜜、おろしニンニク、刻みハーブ、レモン汁を混ぜたソースで、ギリシャ料理風のご馳走になります♪ニンニクと一緒にオリーブオイルで軽く炒めてから生野菜にトッピングするのもオススメです😊花もフライにして食べられますよ!ぜひお試しください♥



ズッキーニのフライ・ヨーグルトソースがけ(手前)と、炒めズッキーニのサラダ



楽しみがいっぱい!

直売所にてかけよう



皆さんは地元の直売所へよくおでかけしますか？新鮮な農畜産物、地元の旬を感じられる、珍しい野菜と出会う…などなど魅力がいっぱいですよね😊今回は、直売所を楽しむポイントとともに県内の直売所を紹介していきます！

「花と野菜の産直市場」JAしまね斐川グリーンセンター

出雲市斐川町にある斐川グリーンセンターは、季節ごとの新鮮な野菜や花が豊富でお客さんに喜んでいただいている地域密着型のお店です。これからの時期は、出西生姜や枝豆、タマネギなど地域の特色ある農産物や、定番のトマト、キュウリなどの夏野菜が早朝からぞくぞくと持ち込まれます。お盆に向けて菊やストックなど切り花も充実していきます！



地元産の新鮮な野菜や花を豊富に取り揃えているお店ですので、たくさんのご来店をお待ちしています！

朝一で持ち込まれた旬の野菜詰め合わせ「くにびきっ」の発送も承っています😊



JAグリーンつだ

「JAグリーンつだ」は、新鮮な野菜はもちろん切り花の品揃えも充実のJA直売所。その場で精米する「今ずり」のお米も販売しており、毎週日曜日は5キロ以上を購入するとたまごをプレゼントする人気の企画も…！これからの季節は夏野菜の出荷が本番を迎え、8月にはお盆に向け売り場を広げて花の即売が行われます😊



道の駅あらエッサ「なかうみ菜彩館」

安来市の道の駅あらエッサ内の「なかうみ菜彩館」は、県外や市外からの来店客が「安来」と「四季」を感じることができるJA直売所。出荷される農産物はもちろん、店内の装飾や季節の行事に合わせたイベントなどで来る人を楽しませています。これからの季節は、トウモロコシを始めとした夏野菜やブドウ、メロン、二十世紀梨が棚に並びます😊



安来を感じられる直売所にぜひ足を運んでいただき、四季をご堪能ください！

Aコープ直売コーナー

JAしまね島根おおち地区本部管内のAコープ3店舗（いわみ店・おおち店・かわもと店）に設置している直売コーナー。シャインマスカットや夏野菜、白ナスなどの西洋野菜まで旬の農産物が勢ぞろい。出荷される野菜のファンで遠方の家族に送るために訪れる方もいる人気のコーナーです。生産者オススメの調理法も紹介されているので要チェックですよ◎



手頃な価格で新鮮でおいしい野菜を常に提供しています。ぜひお越しください！

たんびにきて家

道の駅「さくらの里きすき」併設の「たんびにきて家」は、雲南地域（1市2町）から農畜産物や加工品が集まります。同地域は平たん地から高冷地まで有するため出荷物の種類がとにかく豊富。名物の焼き鯖寿司や、夏場にはプラムや桃、ブドウなどが出荷され、新鮮な果物を求めて来店されるお客さんと賑わいます！



多くの方が出荷されているので、たくさんのお農産物や珍しいものと出会う直売所です😊

地元の直売所を利用＝「国消国産」「地産地消」につながる！

「国消国産」とは、JAグループが提唱している「**国**」民が必要とし「**消**」費する食料はできるだけその「**国**」で生「**産**」するという考え方のこと。これを身近なところで考えると「地産地消」になります。できるだけ国産、地元産のものを手に取り、食べることが生産者の皆さんや日本の農業を応援することにつながります！



©よい食P こくしょうこくさん

直売所を楽しむ! 4つのポイント

JAグリーンおおだ

JAグリーンおおだ「産直市」は、288人の会員が四季折々の野菜や加工品、生花、苗物などを出荷しています。毎週月・水曜日には地元女性グループによる特産品「箱寿司」やお惣菜、地元蒲鉾店とJAがコラボした地元産アスパラガスを使ったカレー風味の天ぷらも販売しています。これからはキュウリ・トマトなどの夏野菜で棚が埋まります!



笑顔いっぱい皆さまのご来店を心よりお待ちしております! ぜひお立ち寄りください!

1 地元の採れたて 新鮮な農産物が手に入る

「採れたてのおいしさを届けたい」そんな農家さんの気持ちが詰まっています。季節によって出荷される商品が変わるので、旬の味が楽しめます!

2 農家さんの顔が見える農産物

商品に農家さんの名前が付いているのは、商品の安全に自信をもっている証。お店で農家さんと出会ったら、商品の選び方や食べ方などを聞いてみるチャンス!

3 量販店では味わえない「選ぶ楽しさ」

直売所には同じ野菜でも形や色、味が違う多くの種類が並びます。これは農家さんが、少しでも他の人と違った作物を作り、消費者の皆さんのニーズに合うように工夫しているから。

4 直売所ではしか買えない「加工品」も大きな魅力

農家さん手作りのジャムや漬物、みそ、お餅など素材の味を生かした商品はどれもおいしさ満点です!

ラピタ農産物直売コーナー

JAしまね出雲地区本部が運営する生活購買店舗「ラピタ」8店舗の農産物直売コーナーでは、「安全・安心・新鮮」をモットーに地元農産物や加工品を販売しています。売り場に残ったものは翌日引き取るなど保管ルールを徹底しており、売り場には常に新鮮な農産物が並びます。夏場はナス、キュウリ、トマトなどの夏野菜が売れ筋商品です!



安全・安心を基本に消費者ニーズに応えていきます!

隠岐地区本部

JAしまね隠岐地区本部では、リースハウス事業でハウスを増設した島内生産者が栽培したキュウリやトマトを拠点となる同地区本部に集荷し、隠岐どうぜん地区本部管内のグリーンストアや直売所などへ納品しています。また、隠岐農産物生産者協議会野菜部会員が栽培したキャベツやジャガイモ、ネギ、ホウレンソウ、タマネギなど主要野菜を学校給食用の食材として給食センターへ納め、子どもたちに地場産野菜を食べてもらうなどの地産地消に積極的に取り組んでいます。



JAで集荷すると出荷担当が検品した後、「隠岐育ちシール」を貼って出荷します。このシールがJAで検品した隠岐産の証!

グリーンストア

JAしまね隠岐どうぜん地区本部管内には直売所が併設されたグリーンストアが3店舗(西ノ島町・知夫村・海士町)あります。季節の旬の農産物はもちろん、シーズンには海産物やお寿司なども並びます。これからの季節は、毎年お客さんから好評をいただいている各種ブドウや桃、梨などが並ぶ予定です!



地元農家の皆さんが作った野菜や果物が並びますので楽しみにしてください!

愛菜果市「旬」

益田市内のAコープ2店舗にある愛菜果市「旬」は、葉物野菜や根菜類、果物、さらには加工品も多種多様で、時期にあった旬のものを提供することを基本としています。小菊を中心に四季折々の切り花がたくさん並ぶのも強み。梅雨が明けるとナス、トマトなどの夏野菜が所狭しと売り場に並び、柏餅や梅漬け、らっきょう漬けも出荷されます!



安全安心な新鮮野菜の提供を基本に、誠実で適正な価格表示を心がけて出荷いただいています。お客さまにも好評です!

きんさい市場 黒川店

季節の山の幸などは産直ならではのですね! 収穫したての新鮮な野菜や果物が並びます。近年は切り花も豊富でお花を楽しむ方も増えています。夏の時期は枝豆やミョウガ、スイートコーン、スイカ、トマトが、果物ではブドウや梨、柑橘類が人気です。きんさい市場では、とにかく元気なスタッフが皆様をお待ちしています!



おっ!この時期かあって感じたりして、季節のものをその時期に食べてほしいです。時々行うぶちイベントにもぜひお越しください!

お知らせ: 次回8月号は総代会特集!

6月25日(日)に開催した第9回通常総代会の様子は、8月号の特集面にてご紹介いたします。

本来であれば7月号にて皆さまにお繋ぎするべきところですが、作成スケジュールの都合上、8月号への掲載とさせていただきます。

なお、総代会情報は、先行して当JAのホームページへ掲載していますので、ぜひご覧ください。





現場の声を
聞きたい

組合長が行く！



今月の
訪問先

J Aしまねやすぎ地区本部管内

- 田口好美さん・一成さん ● 安来地域バイオマスリサイクルセンター
- 農事組合法人ファーム宇賀荘 ● 石橋農園
- 砂流牧場 ● しふおんながた

今回は、田口好美さん・一成さん、安来地域バイオマスリサイクルセンター、農事組合法人ファーム宇賀荘、石橋農園、砂流牧場、しふおんながたを石川寿樹組合長ら本店常勤理事が訪問し、現場の「生の声」を伺いました。

田口好美さんと一成さんは、水稲や和牛繁殖を家族3人で経営。昨年は全共鹿児島大会に県代表牛を出品するなど県内の和牛生産を牽引しています。牛舎を新設し増頭していることや自給飼料についてなど意見を交わし、一成さんは「市場へ出荷する際に、複数頭につき1人で対応できるように出荷体制を作ってほしい」と要望されました。有限会社サンコープ雲南が運営する安来地域バイオマスリサイクルセンターは、家畜ふん尿と下水汚泥を堆肥化する処理施設。酪農家10戸と島根県東部浄化センターが利用し、年間で家畜ふん尿を約3,500トン、下水汚泥を約3,000トン処理しています。堆肥は管内の営農組合や個人農家へ販売されており、資源循環型農業の一翼を担っています。

農事組合法人ファーム宇賀荘は、水稲とエコ大豆を栽培し、環境にやさしい農業に取り組みられています。中でも、どじょうを放流した水田で化学肥料・農薬を使わず育てたブランド米「どじょう米」の取り組みでは、昨年3月に有機JAS認証に対応した乾燥調製施設を竣工し、同年8月には有機JAS認証を取得。同法人の岡田一夫代表理事組合長らは「玄米の保

管が難しいため、有機JAS認証に対応した保管倉庫ができる」と助かる」など要望されました。石橋農園の石橋賢一郎代表は、ハウス7棟で「紅ほっぺ」を中心に4品種を栽培し、うち1棟のハウスでは新たに高設栽培にも挑戦されています。就農した経緯や自分に合った苗を作るため育苗を行っていることなどを伺いました。石橋さんは「苗の特性や温度管理、定植時期をずらして常にイチゴがとれる状態を目指している」と目標を話しました。砂流牧場は、約100頭の乳牛を飼育。地域の田んぼや河川敷を整備し牧草を栽培する他、教育の一環で子どもたちを受け入れるなど幅広く活動されています。同牧場の砂流啓二さんと裕美子さんは、依然として続く畜産業界の厳しい状況や燃料費・電気代の値上がりの影響、高齢化による獣医師不足など今後の酪農業界について活発に意見を交わしました。



バイオマスリサイクルセンターの発酵棟を視察する石川組合長ら



牛舎を案内する好美さん(左)と一成さん(左から2番目)



乾燥調製施設について説明を受ける石川組合長ら



石橋代表(左から3番目)と石川組合長(左から2番目)ら



裕美子さん(前列左から2番目)と啓二さん(前列左から3番目)と活発な意見交換を行いました



永田さん夫婦にサンプルの米粉について説明する石川組合長(右)

しふおんながたは、永田瞳さんと健志さん夫婦が経営。米粉のパンとシフォンケーキを製造・販売しています。管内の米農家とやすぎ地区本部との三者契約で米粉を納入し、健志さん自らも米粉の原料の「きぬむすめ」を生産しています。J Aしまねが米粉事業に取り組んでいることを伝えた石川組合長は米粉のサンプルを手渡し「使った感想をぜひ教えてほしい」と話しました。

組合長から一言



今回は、和牛繁殖農家の田口好美さん・一成さん、有機JAS認証に対応して米の乾燥調製施設を導入された農事組合法人ファーム宇賀荘、イチゴ栽培農家の石橋賢一郎さん、家族で酪農経営をされている砂流牧場、地元産の米を使って米粉パンを製造されているしふおんながたと意見交換をさせていただきました。その他、安来地域バイオマスリサイクルセンターを訪問し、家畜ふん尿や下水汚泥を原料とする堆肥の製造施設を見学させていただきました。今後、ペレット堆肥の製造についても本格的に取り組むとのことであり、有機農業を進める上で大いに期待したい。



📺 巡回の様子を収めた動画はコチラ

組合長より一言
育児放棄
されし子牛や
今年竹



topics 1

島根ぶどう主力品種「デラウェア」を福岡県でPR



JAしまねと島根県は6月10日、主要な販売先の一つである福岡市で島根ぶどうの主力品種「デラウェア」の出荷ピークに併せ、トップセールスを行いました。同JAの石川寿樹組合長や丸山達也知事ら関係者約20人が同市内の青果市場と量販店を訪れ、「デラウェア」を始めとした県産品をPRしました。

福岡市中央卸売市場青果市場では、石川組合長が市場関係者に日頃からの取引に感謝を伝えながら「農産物の生産は厳しい状況にあるが、若手生産者も頑張っているため今後も県産『デラウェア』の販売をお願いしたい」と販売促進への協力を求めました。また、セリ前には「デラウェア」と「アムスメロン」の試食も行い、市場関係者らに旬の味覚を味わってもらいました。

量販店のサンリブ木の葉モール橋本では、「デラウェア」をメインに、タマネギやシイタケ、アスパラガス、ブロッコリーなどを販売。「デラウェア」の試食をすすめながら来店者へ魅力を伝えました。試食した来店者は「甘くて食べやすい」と感想を話しました。



サンリブ木の葉モール橋本で旬の「デラウェア」をPRする石川組合長（右）と丸山知事（左）

topics 2

積極的なJA運営参画へ JAしまね女性総代研修会を開催



JAしまねは5月31日、出雲市のラピタウェディングパレスで女性総代を対象とした研修会を4年ぶりに開きました。9地区本部から女性総代54人と役員ら参加し、JA運営参画への意識を高めました。

研修会では、同JAの日高光弘専務がJA運営への女性参画について情勢報告をした後、中国四国農政局経営支援課の堀越英樹課長が「女性参画が求められる背景と今後の展望」と題して講演。全員が参加できる・生きやすい社会に向け、新しいルール作りが求められていることなどを伝えました。また、同農政局島根県拠点の新田勇総括農政推進官が「しまね農業女子」の取り組みについて紹介しました。

後半は、11グループに分かれグループ討議や意見交換を実施。テーマごとに話し合い「JA運営に女性参画を進めるにも、今回のような研修会へ積極的に参加し情報を得ることが重要」「会議などに女性が参加しても大した意見が出ないのではないかと感じられることがある」など意識改革が課題となる意見が出ました。

同JAの石川寿樹組合長は「女性の声によりJAに届きやすい環境づくりを進め、JAの事業運営に女性参画が当たり前となる組織とするために現状や課題を考え、今後の事業運営に活かしていく」と話しました。



講演を真剣に聞く参加者ら

topics 3

「世界牛乳の日」に県内酪農・乳業代表者らが知事を訪問



島根県内の酪農関係団体でつくる島根県牛乳消費拡大運動実行委員会は6月1日、「世界牛乳の日」に合わせて丸山達也知事を訪れ、県産牛乳・乳製品の消費拡大や生産コストの高止まりなどで厳しい酪農業界への支援を求める要望書を提出しました。

同委員会メンバーで島根県酪農協議会の西谷悟郎会長は「酪農の実態を伝え、酪農の生産基盤維持と後継者が就農できるような環境を国として作ってもらえるよう要請をお願いしたい」と訴えました。丸山知事は「県としてもできる限りの対策を講じていきたい」と応えました。

この日は消費拡大のPRとして、丸山知事に試飲してもらおうと県産牛乳を用意。丸山知事は牛乳を一気に飲み干すと、県産牛乳・乳製品の消費拡大を県民に呼びかけました。



丸山知事（中央）らとともに消費拡大をPRしました

topics 4

島根たまねぎ出荷始まる！



JAしまねは5月24日、出雲市斐川町のJAしまね広域玉葱調製保管施設で「島根たまねぎ」の出荷を始めました。初日は約10トンの「七宝早生7号」を選果。今年産の同施設の出荷量は2,095トン計画し、9月中旬頃まで1日約20トンの出荷が続く予定です。

タマネギの県産地産地化を目指す同JAは、主産地の斐川町に県内全域のタマネギ調製保管拠点として施設を建設し、昨年度から稼働を始めました。根と茎を処理するタッピングマシンや1日35トンの処理が可能な選別機、乾燥と低温貯蔵ができる保管庫を備え、生産者の作業負担の軽減にもつなげていきます。

今年産は、十分な日照時間と適度な降水量で仕上がりが上々で、収量にも期待がかかります。同JAの担当者は「高品質な『島根たまねぎ』を消費者に届けたい」と話しました。



島根たまねぎの選果を行う選果スタッフら



想いをひとつに✿ しまねの女性部!

JAしまね女性部フレッシュミズ部会

JA女性組織3ヵ年計画
「JA女性 想いをひとつに かなえよう」
の実践2年目です。

つなごうみ まもろうみ かかわろうみ
の3つの具体的目標を掲げ活動します。



住田奈々部会長
(石見銀山)



及川聡美副部会長
(やすぎ)



中島久美子副部会長
(雲南)



池田琴恵委員
(くにびき)



永瀬美和委員
(出雲)

私たちJAしまね女性部フレッシュミズ部会は、概ね50歳までの女性部員で組織されており、「仲間の輪を広げ、活動内容の更なるステップアップを目指そう!」をキーワードに、楽しく活動しています。
令和4年度は新型コロナウイルスの影響で思うように活動ができませんでしたが、令和5年度は役員改選を行い、新メンバーで楽しいイベントをたくさん企画し、部会員同士の交流を深めることから始めていきます。
7月末には、『ちやぐりん』を活用した親子参加型イベントを開催し、食への関心を高めるきっかけ作りをお手伝いします。
今年度、一段とパワーアップしたフレッシュミズ部会は、新役員を筆頭に仲良く・元気に活動していきます。



一所懸命青年連盟

JAしまね石見銀山青年連盟

JA YOUTH

はやし だいすけ
林 大輔さん



地産地消に取り組み、
農業を通じて、
地域に貢献して
いきたい

JAしまね石見銀山青年連盟(以下、農青連)に加入している林大輔さん(38)は、大田市長久町で約600アールの耕作面積で、水稲と飼料用稲(WCS)、大豆の栽培を兼業で行っています。
非農家の生まれで農作業の経験はこれまでありませんでしたが、高齢化などに伴い離農する農家が増える中、農業をビジネスチャンスととらえて就農しました。
1年目は同町の生産者のもとで指導を受け、2年目からは同生産者の農地などを継承し今年で3年目になります。
「目標は20ヘクタールまで面積を拡大し、雇用の創造をすること」と話す林さん。そのためにもまずは10ヘクタールを一人で作業できるようにしなければと日々奮闘中です。
農業の魅力について「一生懸命作ったものを美味しいと喜んでもらえることが何よりも嬉しい」と語りました。
他にも地元保育園を対象に田植え体験や収穫体験、きたお米を提供するなど食農教育活動にも積極的に取り組んでいます。最後に「農業のイメージを変えたい」とその想いを語ってくれました。

令和6年版 JAしまねカレンダー用 絵手紙募集!

JAしまね令和6年版カレンダーに使用する絵手紙(テーマは「農業・農畜産物・花卉」)を募集します。
作品採用者には農協全国商品券5,000円を贈呈

詳細はJAしまねのHPをご覧ください。



絵手紙作品テーマ

島根県内で生産されている農畜産物や農業に関わる絵手紙であれば、種類を問いません。

- ① 農業(稲刈り、芋掘り、田園風景…など)
- ② 農畜産物・花卉(しまね和牛、デラウェア、トルコギキョウ…など)

- 応募資格/島根県内在住者
- 募集期間/令和5年9月13日(水)必着
- 応募方法

- ・ 応募サイズは、郵便ハガキ(100×148mm)
- ・ 1人5点、コピー不可
- ・ 応募作品の返却はいたしません
- ・ 応募の際は、自作絵手紙の表面に ①住所 ②氏名(ふりがな) ③電話番号をご記載の上、応募先までお送りください。

■ 応募・お問合せ先

〒690-0887 松江市殿町19-1 JAしまね ふれあい福祉課 令和6年カレンダー係
電話: 0852-67-7704 FAX: 0852-67-7708

9/13(水)必着



<注意事項>

【応募に関する事項】

- (1) 費用の扱い
デザイン画の作成及び応募にかかる費用はすべて応募者の負担とし、応募作品は返却しません。
- (2) 失格となる場合
・提出書類に虚偽の記載をした場合 ・募集要領の条件を満たしていない場合
- (3) 個人情報の取り扱い
応募者の個人情報は、応募作品の選考、採用通知、採用作品の発表、賞品の授与のために使用します。採用された作品の作者氏名、住所の市町村名などについて公表します。
- (4) その他
応募作品の不達等、送付中の事故については、一切の責任を負いかねます。

【著作権等の帰属に関する事項】

- (1) 応募作品は、第三者が著作権等を利用していないものに限りします。
- (2) 応募作品は、応募者が商標登録出願又は意匠登録出願を行っていないものに限りします。また、応募者は、応募後においても、応募作品についての商標登録出願又は意匠登録出願を行わないものとします。
- (3) 採用作品に関する意匠登録を受ける権利及び著作権(著作権法第27条及び第28条に規定される権利を含む)は、全てJAしまねに帰属します。また、採用作品に関する上記権利の譲渡対価は賞金をもって充てるとします。
- (4) 採用作品の著作人格権は行使できないものとします。
- (5) 採用作品は、JAしまねがデザインの一部を修正・変更する場合があります。
- (6) 採用作品は、採用決定以後、JAしまねのカレンダーやHP、SNS等において自由に使用できるものとします。
- (7) 応募作品について第三者から権利侵害等の警告又は訴えがあった場合、その作品を応募した応募者は、その解決に全面的に協力するものとします。

組合員からの情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法(法第35条の5)および農協法施行規則(第81条)に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報(組合経営に関する事象に限る)の提供を受付けています。

当組合理事の組合経営に関する気になる行為について、封書またはEメールにて下記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

島根県農業協同組合 監事会

連絡先: 住 所 〒690-0887 松江市殿町19番地1
Eメールアドレス kanji.hon@ja-shimane.gr.jp
部 署 名 監査部
受 付 監 事 常勤監事

*当組合の業務に関する一般的な苦情については、担当部署または支店で受付けていますのでご利用ください。
*ご厚意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

理事会情報 (5月30日開催)

【協議事項】

- ① 露地野菜の県央育苗拠点の整備について
- ② 令和5年度補助事業の実施について
- ③ 令和4年産島根米買取価格の設定について
- ④ 出雲地区本部葬祭利用料金変更に伴う葬祭会館及び葬祭具利用管理規定の改定について
- ⑤ 信用事業方法書(為替取引)の一部改正について
- ⑥ 令和5年7月18日付け隠岐どうぜん地区本部の機構改革の実施について
- ⑦ 令和5年度業績還元の取扱いについて
- ⑧ 令和4年度決算の承認について
- ⑨ 第9回通常総代会への附議議案について
- ⑩ 本店子会社等への役員の派遣及び推薦について
- ⑪ 大口貸出について
- ⑫ 定款及び定款附属書総代選挙規定の一部変更について
- ⑬ 通常総代会にかかる「総代会参考書類」および「議決権行使書」の取り扱いについて
- ⑭ 第9回通常総代会における功労者表彰について
- ⑮ 「西ノ島町特定地域づくり事業協同組合」への加入について
- ⑯ 自己改革工程表の策定について
- ⑰ 食料安全保障の強化に向けた食料・農業・農村基本政策の確立に関する特別決議について
- ⑱ 「従たる事務所」の変更登記について
- ⑲ 常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑳ 役員報酬総額等の設定について
- ㉑ 島根県常例検査書(斐川地区本部)の回答について

令和4年度事業報告と 令和5年度事業方針について

出雲地区本部の令和4年度事業報告と令和5年度事業方針について、組合員の皆様へご報告いたします。

出雲地区本部 令和4年度事業報告

農業従事者の減少や外部環境の変化に伴い、農業生産基盤の脆弱化が懸念されるなか、持続可能な農業を実現するため、引き続き「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を柱とした自己改革に取り組み、組合員から信頼され必要とされる組織を目指し事業運営を行いました。

人口減少や事業収益の急激な減少に伴い、農業振興支援を継続するための経営基盤強化策として、中学校区域単位での1拠点の基本とする支店・ふれあい店の店舗再編を進め、その第1ステップとして、令和4年度ではふれあい店14店舗の無人化、7支店のブランドチェーンブランド方式（店舗内店舗）への移行を実施しました。

農業関連では、10月に鹿児島県で行われた第12回全国和牛能力共進会に管内から6頭

が出品され、総合評価群肉牛の部において全国1位、脂肪の質評価群、去勢肥育牛においていずれも全国2位を受賞する快挙となりました。また、農畜産物の生産振興および多様な農業者の育成・確保を推進するため、国・県・市の補助事業活用による農業者支援や今後普及が期待されるスマート農業技術の実証に取り組みました。



地域貢献としては、コロナ禍により困窮する学生や子ども食堂への支援、出雲市へカーブミラーの贈呈、農業者・女性部健康診断を実施するなど積極的に取り組みまし

た。

令和4年度の業績還元については、肥料価格高騰対策とした予約肥料の価格の一部支援をはじめ、各地区農業祭への助成、ラピタポイント5倍デーやガソリン値引券の配布など、組合員・利用者へ約2,900万円を還元しました。

○営農指導事業

GAPを活用した「安全・安心な農産物づくり」の一環として、現在7組織が「美味しまね認証」を取得していま



す。「美味しまね認証ゴールド」未取得の4組織に対して上位認証移行に向けた研修会を開催しました。また、農産部会の田もち会、稲作研究会の会員と共同で個人認証取得に向けた研修会を開催しました。

米穀では、倉庫大口奨励やカントリー利用奨励などの集荷対策を実施し、引き続き米集荷拡大に取り組みました。

そのほか、島根県産地創生事業を活用した菌床しいたけハウス（2棟）の導入支援を行いました。

○購買事業

生産購買事業では、県下統一品目（水稲・肥料5品目・農薬15品目、園芸・肥料1品目、汎用肥料・1品目）に集約し、引き続き価格低減に努めました。また、TACと連携し、営農組合や担い手農家に対して、肥料の大型車直送、農薬の大型規格品を推進することでコスト低減を行いました。

ラピタでは、「安全・安

心・新鮮」な地元産品の販売拡充に取り組みとともに、11月にはラピタ本店のリニューアルを実施し、魅力ある店舗づくりを努めました。

葬祭事業では、利用者のニーズを的確に把握し、多様化する葬儀形態に対応するよう努めました。さらに、葬儀後の法要ギフト等の提案を「アフター葬儀」として一体的に捉え、丁寧な対応を心がけました。

LPガス事業では、ガス機器のリース普及と他燃料からの燃料転換に取り組み、保安業務ではガスの集中監視システムの更新を計画的に行い体制強化に努めました。



JASS JAしまね出雲地区本部SS
LINE はじめました
公式アカウント
会員登録中!!
LINE登録していただくと
●お得なキャンペーン・イベント情報提供!!
●洗車がお得!! (毎回使えるクーポン券)
●店頭価格・営業時間・休日情報を提供!!
友だち追加方法
LINEの「友だち追加」から
右のQRコードを読み込んで
今すぐ登録!!
今なら、会員登録で
ボックスティッシュ1箱プレゼント!!

事業別の明細

項目	JAしまね	出雲地区本部
販売品販売高	380億42百万円	85億43百万円
購買品供給高(生産資材)	141億6百万円	22億38百万円
購買品供給高(生活物資)	189億12百万円	124億35百万円
貯金残高	1兆98億74百万円	2,765億9百万円
貸出金残高	2,819億39百万円	710億12百万円
長期共済保有高	2兆9,059億21百万円	6,599億54百万円

石油事業では、LINE会員に向けた様々なキャンペーンを発信し、会員数を増やしました。また、対応するQRコード決済の種類を増やしたことで利用者の利便性を高めました。

自動車事業では、コロナ禍及び部品不足による新車納期

遅れの対策として、中古車取扱い強化に取り組みました。

○販売事業

従来の市場を経由した取引の他に、新たな取引先の開拓や大口量販店との契約販売を行い安定出荷と単価向上に取り組みました。

損益の状況

項目	JAしまね	出雲地区本部
事業総利益	238億20百万円	72億95百万円
事業管理費	235億84百万円	71億93百万円
事業利益	2億35百万円	1億1百万円
経常利益	16億5百万円	4億91百万円
当期剰余金	8億22百万円	2億46百万円

また、継続して香港への輸出商品の提案を行い、菌床しいたけ、アスパラガス、きゅうり、青ねぎ、シャインマスカット等を輸出し取引の拡大に取り組みました。

ギフト・直販では、出雲に縁がある方々を対象に、出雲地区本部独自のカタログ販売「だんだん出雲ご縁倶楽部」の利用を促しました。また、出雲市へふるさと納税返礼品として、積極的に商品を提案し好評を得ました。



○信用事業

農業融資担当者を中心に、支店・営農担当部署と連携を図り、農業者や新規就農者への資金相談をはじめ、「令和

4年度新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰等対策資金」について広く声がけを行うなど、農業融資の伸長に努めました。

また、ローン営業センターを基軸に住宅メーカー等への働きかけを継続的に展開し、住宅ローンをメインとした各種個人融資の伸長に取り組みました。

年金受給口座獲得の取り組みについては、コロナ禍の影響により昨年度に続き年金相談会の縮小、年金受給者イベントの中止を余儀なくされましたが、代替案としてラピタでの「お買い物物値引券」を呈する等、利用者満足度の向上に努めました。

○共済事業

各支店において信共窓口リーダーを中心に、共済担当者・複合渉外員・支店管理者が連携して、来店者へ幅広くJA共済のお知らせ活動を展開し、組合員・利用者へ情報提供や提案活動を実施しました。

また、共済金請求や事故発生時においては、迅速・丁寧・的確な対応を心掛け、組合員・利用者への安心と満足の提供に努めました。

出雲地区本部 令和5年度事業方針

肥料・飼料・燃料等の価格高騰により、農業経営の危機が叫ばれているなか、組合員の農業経営安定のため、全力で経営支援に取り組みます。

また、「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」を目指し、農業振興支援を継続するための経営基盤強化策として、前年度実施した店舗再編第1ステップに続き、第2ステップである中学校区域単位1拠点の基本とする店舗再編について、営農センター、グリーンセンター、ラピタ等の関連性を含めて協議、検討し

ていきます。また、各事業へのDX（デジタルトランスフォーメーション）※を積極的に取り入れ、利用者の利便性向上と機動的かつ、効率的な事業体制の実現に取り組みます。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）…デジタル技術を用いて、業務フローの改善や新たなビジネスモデルの創出だけでなく、老朽化した既存基幹システムからの脱却や企業風土の革新を実現させること

○営農・農業振興

肥料・飼料・燃料をはじめとする生産資材価格の高騰のなか、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」を図るため、「出雲農業未来の懸け橋事業」をはじめとする各種補助事業の活用支援や、さらなる栽培・経営指導の拡充とともに、有利販売・安定的取引による農畜産物の販売促進に取り組みます。

○くらしの活動

くらしの活動を通じて組合員・地域住民・各組織との連携を強化し、アクティブメン



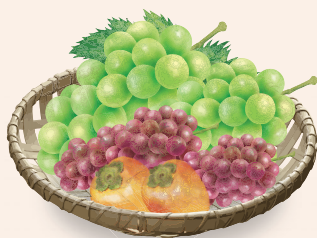
○信用事業
 営農担当部署との連携を強化し、多様な農業者との相談活動を通じた経営支援により、農業融資伸長に取り組みます。また、非対面化、キャッシュレス化が進む社会情勢に対応するため、効率的な金融店舗・ATMの再編に取り組みます。

○共済事業
 組合員・利用者のくらしを守るため、契約者・組合員に寄り添った活動を実践するとともに、将来を見据えた事業展開により持続可能な経営基盤の強化に努めます。

取扱計画		
項目	J Aしまね	出雲地区本部
販売品販売高	376億22百万円	81億74百万円
購買品供給高(生産資材)	131億68百万円	18億58百万円
購買品供給高(生活物資)	183億63百万円	121億21百万円
貯金平均残高	1兆208億95百万円	2,678億23百万円
貸出金平均残高	2,838億96百万円	702億26百万円
長期共済保有高	2兆7,700億円	6,283億円80百万円

○生活事業
 地産地消を基本に「安全・安心・新鮮」な商品を提供し、組合員・利用者から信頼され地域の暮らしの支えとなる店舗運営に取り組みます。葬祭事業では、多様化するニーズに対応できる施設整備と職員資質の向上を図ります。

損益計画		
項目	J Aしまね	出雲地区本部
事業総利益	232億12百万円	70億95百万円
事業管理費	232億8百万円	70億70百万円
事業利益	4百万円	25百万円
経常利益	12億42百万円	3億88百万円
当期剰余金	7億81百万円	1億74百万円



自動車燃料事業では、J Aの総合力を活かした魅力のある事業展開により、組合員・利用者の満足度向上を目指し、「安全・安心・快適」なサービスの提供に努めます。



多伎支店が移転オープン

多伎支店が6月12日、旧「多伎いちじく館」跡に移転オープンしました。セレモニーには珍部誠本部長ら役員、地元の関係者39人が参加し、テープカットでオープンを祝いました。

セレモニーで珍部誠本部長は、「地元の各種団体から、施設の有効活用についての要望がありました。旧施設の外装は変えずに再利用し、今年の2月から改装工事を進めてきました。店内は天井が高く開放的なつくりで、同じ建物の中には会議室、調理室もあり、新店舗を拠点に、様々なイベント等で活用いただき、地区の憩いの場としてもらいたいです」とあいさつしました。当日は、オープンに合わせ、支店からは紅白饅頭などをプレゼントし、出雲女性部多伎支部からのおもてなしとして、ぜんざいがふるまわれ賑やかなオープンとなりました。



テープカットでオープン



女性部多伎支部がぜんざいをふるまった



紅白饅頭を贈呈した

農業研修を実施

新入職員が農作業学ぶ

出雲地区本部は6月19日から21日にかけて、今年度入組した職員7人を対象に農業研修を行いました。同地区本部では非農家の職員が増えるなか、農業の素晴らしさや難しさを学ぶために、毎年新入職員による農業研修を実施しています。今回の研修では、JAいずもアグリ開発(株)の協力のもと、最盛期を迎えているアブウエアの収穫、出荷作業に取り組み、現場研修を通して農家の思いや農業への理解を深めました。

参加した新入職員からは「慣れない作業で大変なこともありましたが、今回の経験を活かし組合員さんの立場になつて寄り添い、皆さんに信頼される職員を目指したい」と意気込みを語りました。



作業に取り組む職員

ラピタビアガーデン

「星空ガーデン」

6月28日、ラピタ本店4階特設会場で出雲地区本部子会社の(株)JAアグリフードサービスが手掛けるビアガーデン「星空ガーデン」がオープンしました。

本格炭火バーベキューが楽しめるほか、屋根付スペースと座敷スペースを用意。家族連れや女子会など幅広い年齢層に楽しんでもらえる仕様になっています。レギュラープランは予約で1,980円(当日注文:2,480円、税込)、ご飯の食べ放題とソフトドリンク飲み放題が付きます。1,500円(税込)でアルコール飲料の飲み放題を追加することができ、予約限定プランも用意しています。営業時間は午後5時半から9時まで。開催期間は9月30日まで毎日営業します。予約は左記QRコード(ぐるなび)または、050-5486-3296(朝9時から午後5時まで)にて受け付けております。



本格炭火バーベキューが楽しめる



シャインマスカット

出荷始まる

6月9日、荒茅ぶどう集荷所では出雲産シャインマスカットの出荷が始まりました。当日は1人の生産者が214・6キロを出荷。春先の天候不順はあったものの5月からは好天に恵まれ、前年よりも6日早い出荷となりました。

J Aしまね出雲ぶどう部会では178戸、約33haでシャインマスカットを栽培。収穫は10月下旬まで続き、出荷のピークは8月中旬ごろの予定。昨年より20トン多い220トンの出荷を目指しています。検査されたシャインマスカットは県内のほか、関東や関西方面へ出荷されます。

J Aしまね出雲ぶどう部会の前島英樹大粒系部長は「糖度は出荷基準の18度を上回る20度を超えるものもあり、美味しく仕上がっています。ピークに向かって天候に恵まれ順調に出荷が進んでほしいですね」と話しました。



一つ一つ丁寧に検査

父の日を前に

花束贈呈

6月13日、J Aしまね出雲花卉部会の前島信行部会長、同斐川花き部会の北村一夫部会長、同平田花卉部会の森山高好部会長が出雲市役所を訪れ、出雲市長へ花束やアレンジメントを贈呈しました。地元産の花弁をPRし花の消費拡大を目的とした「父の日に花を贈ろう!!」プロジェクトの一環として贈呈したもので3部会合同での贈呈式は今年で2回目。

販売価格はコロナ禍以前の7割程度まで回復していることなど生産現場の現状を報告しました。

花束を受けとった飯塚市長は「たくさんの種類を使って作った花束はきれいで、心が和みます」と花の魅力を伝えました。



飯塚出雲市長(中央)へ花束やアレンジメントを贈呈

鶏卵贈呈

J Aしまね出雲養鶏部会

J Aしまね出雲養鶏部会は、6月8日に開催した総会にあわせ、社会福祉法人J Aいずも福祉会に恒例となっている鶏卵の贈呈を行いました。この取り組みは、J A出雲養鶏部会独自に社会福祉施設に対して「安全・安心・新鮮なしまねのたまご」を贈り、施設利用者の健康増進を手助けする活動の一環として行われています。

贈呈式では、同部会の福田賢治部会長が「鳥インフルエンザの影響等で価格が高騰していますが、たまごを食べ続けていただき利用者の皆さんの健康維持に役立つことを願っています」と話し、受け取った同福祉会の中尾忠正事務局長は「食事を楽しみにしておられる利用者の方もおられ、いただいたたまごの料りが皆さんの元気のもとになると思います」と謝辞を述べました。



福田部会長(左)が福祉会中尾事務局長に贈った

出雲産アムスメロン

目合わせ会

J Aしまね出雲メロン部会は6月5日に、令和5年産の出雲産アムスメロンの初出荷にあわせて目合わせ会を開きました。生産者それぞれが出荷規格や、出荷方法を確認。出荷されたメロンは地元の青果市場を中心に、関西方面にも出荷しており、出雲産メロンはネットの張りも良く市場から高い評価を得ています。7月下旬ごろからアールスメロンの出荷が始まる予定で、部会として令和5年度は1,000万円の販売目標を掲げています。

今年から本格的に栽培を始めた「おかげぐらぶ」代表の岡康之さんは、「皆さんが食べて喜ぶメロンをしっかりと作っていききたい。ぜひ地元産のメロンを食べてほしい」と意気込みを話しました。



出荷規格の確認をする生産者



有限会社かつべ種畜牧場

とみた

富田

たぐや

拓也さん
(31)

— 肥育牛・繁殖牛 —

経営規模

(有限会社かつべ種畜牧場)

肥育牛	380頭
繁殖牛	320頭
子牛	120頭

有限会社かつべ種畜牧場で従業員として働く富田拓也さん。出身は埼玉県、北海道の酪農学園大学を卒業後、兵庫県で会社員として勤めていました。子どもの頃から動物全般が好きで、思いが強くなり、会社を退職し鳥取県の酪農家に就職しました。その後、肥育に興味を持ち始め縁があって令和2年12月から現在の牧場で働いています。昨年、種付けに必要な資格の「人工授精師」の免許を取得しました。

手間をかけた分ほど評価される

富田さんは餌やりや、掃除など主に牛舎内の管理を担当しており、毎日それぞれの個体の体調管理をしています。肥育牛に関わるようになって、出荷した肉用牛が賞を受賞したり、市場から高評価を得た時、今まで自分が手間をかけた分を評価してもらえ、やりがいを感じるようになりました。また、牛舎で牛を注意深く見ることで、牛の顔色の変化や違和感をいち早く感じ取り、適切な処置をして、出荷まで大事に育てることを心がけています。

「しまね和牛肉かつべ」のファンを増やしたい

先日、東京の取引先との意見交換会へ参加した時に、たくさんの人から高評価を受けていることや、かつべ牧場の肉を取り扱っていただいている焼き肉店では肉の「ファンクラ

ブ」が存在することをはじめて知りました。その方たちの期待を裏切らないように、これまでに以上に良質な「しまね和牛肉かつべ」を安定的に出荷することが重要だと気づきました。

選畜眼(せんちくがん)を鍛える

「月齢など様々な出荷基準はありますが、出荷前に牛の身体を触って観察したり、写真や動画で牛を撮影したりして、筋肉や皮下脂肪の付き具合を予測し、身体が出来上がっているかを予想しています」と話す富田さん。「実際にと畜された結果との差を縮め、出荷のタイミングを見極めることができるように経験を積んでいき、消費者の皆さんに喜んでもらえるお肉を生産していきたい」と意気込みを語っていただきました。



令和
5年度

出雲農業未来の懸け橋事業 追加募集 (かけはし事業)

■出雲農業未来の懸け橋事業がめざすもの

平野部から山間部まで多様な地形を有する出雲市では、米、麦、大豆、野菜、果樹、畜産物など、各地域で特色ある品目が種類豊富に生産されています。かけはし事業では、これらを総合的に支援し、担い手の育成や生産拡大、産地の維持を図ることで、全市的な農業振興をめざします。出雲市、JAしまね出雲地区本部、同斐川地区本部が連携し、事業を推進していきます。

■支援内容や事業メニューについて

① 農産振興事業

集落営農組織や認定農業者など、地域の農業の核となる担い手を支援します。



メニューの一例

- 集落営農組織推進事業
トラクター、田植機、コンバインの購入費を補助。
- 麦・そば等生産推進事業
米以外の作物の生産に必要なとなる機械の購入費を補助。
- 経営多角化支援事業
水稲育苗及び高収益作物生産のためのハウス建設を補助。

② 特産振興事業

出雲市が誇る特産品の産地維持・拡大を担うみなさんを支援します。



メニューの一例

- 特産振興施設等整備事業
果樹、野菜などの生産に必要なとなる機械の購入費や施設整備費を補助。
- 産地維持対策事業
ハウスの長寿命化、高度化の施工費等を補助。

③ 畜産振興事業

畜産経営基盤の強化に取り組む畜産農家のみなさんの経営コスト低減等を支援します。



メニューの一例

- 畜産基盤整備推進事業
飼養環境改善等を目的とした機械整備費を補助。
- 市内産飼料利用定着化促進事業
市内で生産された飼料用米、WCSの購入費を補助。

④ 特認事業

直売出荷拡大の支援や、中山間地域の小規模農家を支援します。



メニューの一例

- 直売拡大支援事業
出荷拡大に必要な機械購入費、設備整備費を補助。
- 地域に根差した担い手等支援事業
中山間地域の小規模農家を対象に機械購入費を補助。

⑤ 出雲・斐川独自事業

地域ごとに抱える課題の解決を支援します。

一例

- ハウスの維持・修繕に対する支援 (出雲・斐川)
- 認定農業者の法人化支援 (出雲・斐川)
- 集落営農組織の後継者育成支援 (出雲・斐川)
- 青色申告への取組支援 (出雲)
- 獣害発生圃場における次期作支援事業 (出雲)
- 菜の花、チューリップ、さつまいも振興支援 (斐川)
- 水田均平化作業委託支援事業 (斐川)

相談・申請はお早めに！！

※その他の事業メニューや要件などの詳細については、JA各営農センターまたは市役所にお問い合わせください。

■令和5年度 かけはし事業のスケジュール

申請〆切

令和5年7月31日(月)

審査会

8月中旬

事業認定

8月下旬予定

相談・
申請先

● 出雲市役所農業振興課
TEL 0853-21-6557
FAX 0853-21-6998

● 最寄りのJAしまね出雲地区本部各営農センター
又は JAしまね出雲地区本部営農企画課
TEL 0853-21-6041 FAX 0853-21-6075

サークル紹介

高松支部

「ぼかしサークル」

代表 後藤 博子さん



高松支部のぼかしサークルは、13人のメンバーで毎月第1水曜日に高松支店倉庫で活動しています。当初は、女性部の活動の一環としてぼかしを作り、支部内の希望する部員に配布していましたが、年々希望者が増加してきたので、有志を募り平成18年にサークルとして立ち上げました。



サークルで作るぼかしは、米糠にEM菌と糖蜜を混ぜて作ります。コンポストなどで生ごみに混ぜると分解して堆肥化してくれる他、畑に散布すると土が柔らかくなり、収穫した野菜や果物は食べた人から「美味しい！」と好評を得ています。作業の時には部員同士で様々な情報交換を行い、作物を育てる際の参考にすることができ、毎回楽しく活動しています。今後は、コロナウイルスで活動を控えていたランチや日帰り旅行なども計画し、部員同士和気あいあいと長く活動していきたいです。

多伎支部

グラウンドゴルフ大会

を開催

多伎支部は、6月6日に田儀農村広場でグラウンドゴルフ大会を開催しました。コロナ禍で2年中止していましたが昨年からは再開し今年で22回目。当日は30名の部員が参加し、新緑の心地よい広場で和気あいあいと親睦を深めました。参加者からは「この行事を楽しみにしていました。多くの人と触れ合うことができよかったです」などの感想が上がりました。

同支部の石飛真佐子支部長は「『多伎町グラウンドゴルフ協会』のメンバーが中心となって盛り上げてくれるので感謝しています。あいにくの小雨の中での開催となりましたが、けがもなく、皆さんの元気な姿を見ることができ、これからも続けていきたいです」と話しました。



塩冶支部

「えんまん座」

才劇で防災呼びかけ

塩冶支部の「えんまん座」は塩冶コミュニティセンターで開催された同支部の総会で、新作の踊りと才劇を披露しました。披露した才劇「どうするトマトさん」では、災害などの非常時に持ち出すものをトマト一家がそれぞれ発表し、○×形式で判定。常備薬や食品、ラジオなど本場に持ち出すべきものを総会の参加者と一緒に確認したほか、家の光記事を活用した「新聞紙で作る草履」や防災頭巾、米袋バックなどを紹介し、普段から非常時に備えることの重要性を呼びかけました。

座長の飯國恵美子さんは「常日頃から防災意識を高めて準備しておくことで、いざという時に慌てないようにしてほしいです」と話しました。



お知らせ

資産運用セミナーを開催します

～人生を豊かにする長期投資～

「資産運用・資産形成」の関心が高まっている今、組合員・利用者みなさまの一助となるべく、下記のとおりセミナーを開催いたします。どなたでもお申込みいただけますので、ぜひご参加ください。



日時 令和5年8月19日(土) 13:30～15:00

会場 JAしまね 出雲地区本部 4階 401会議室

対象 どなたでもご応募いただけます

申込方法

募集人数 50名程度 ※先着順とさせていただきます。予めご了承ください。

8月4日(金)までに、出雲地区本部管内のJA各支店へお申込みください。お申込みの際は、氏名・住所・連絡先をお知らせください。

※やむを得ない事情により、中止または延期となる可能性がありますことをご承知おきください。

セミナーに関する
お問い合わせ先

JAしまね 出雲地区本部

出雲統括支店 金融課 担当 原田
出雲支店 投資信託 担当 武田・福島

tel.0853-21-6019 fax.0853-21-6025
tel.0853-31-4106 fax.0853-21-6035

農業用廃棄ビニール・プラスチック類の回収についてのお知らせ

下記の回収処分計画表の通り、農業用廃棄ビニール・プラスチック類の回収を行います。持ち込みを希望される方は、「委任状」・「産業廃棄物運搬車表示」が必要となりますので、最寄りの各営農センターまで引取にお出かけいただきますようよろしくお願い致します。尚、「産業廃棄物運搬車表示」は紙に手書きしたものでかまいませんが、マグネットシートの表示板をグリーンセンターにおいて販売しておりますので、ご利用ください。

1.回収処分計画表

地区名	回収場所	回収日	回収時間
平田・灘分・久多美・松山・佐香	平田カントリー	7月25日(火)	午前9時～11時
国富・西田・鱈淵・北浜・東・伊野			午後1時～3時
高松・長浜・大社・荒木・遙堪	西部カントリー	8月2日(水)	午前9時～11時
神西・神戸川・湖陵・多伎	西部カントリー	8月3日(木)	午前9時～11時
上津・大津・塩冶・四絡・今市・高浜 川跡・鳶巣・朝山・乙立・稗原・佐田	西部カントリー	8月4日(金)	午前9時～11時

2.回収対象 被覆資材(ビニール・農ポリ)・ハウス資材(マイカー線・パッカー・寒冷沙・タイベック)・灌水チューブ・肥料袋・ビニールマルチ、育苗箱、波板等

**持込不可
の物**

※農業の容器や空袋、紙(ダンボール箱等)
※トンネル支柱・イボ竹等鉄にビニールコーティングしてある物
※金属類・灯油用ポリタンク
※ビニールシート、パッカー等についている金属部分もはずしてください。

3.処理料金 料 金:kg当たり 税込 69円
代金決済 代金決済:営農口座より 令和5年9月25日(月)引き落とし

※ご不明な点がございましたら生産資材課・各営農センターへご連絡ください。

●生産資材課 ☎21-6047 ●中部営農センター ☎31-9055 ●西部営農センター ☎53-2168
●河南営農センター ☎43-7007 ●南部営農センター ☎84-0213 ●東部営農センター ☎62-9059

業務用携帯 使用開始のお知らせ - 複合渉外員 -

出雲地区本部では、組合員・利用者の皆様のニーズにお応えし、利便性向上を図ることを目的に全渉外員に業務用携帯の使用を開始致しましたので、お知らせ致します。

JAとして地域の皆様に寄り添い、お役に立てるよう信頼関係を構築してまいりますので、よろしくお願い致します。なお、勤務時間外については、折り返し対応をさせていただきますことをご了承下さい。

推進課名	駐在支店名	氏名	携帯番号
中部南推進課 課長 川上 正人 マネージャー 井戸 敬洋	大津支店 ☎21-0860	杉原 洋 恵	090-3732-6723
		高橋 勇 人	090-3732-6819
		土江 登	090-3732-6875
	塩冶支店 ☎21-0189	藤澤 拓 也	090-3732-7009
		松田 裕 也	090-3732-7139
		常松 真 希	090-3732-7320
		小川 由 希 子	090-3732-7400
	出雲支店 ☎31-4106	児玉 祥 平	090-3732-7410
		森山 優 人	090-3732-7423
		日野 敦 子	090-3732-7493
		福田 慶 子	090-3732-7738
		井戸 敬 洋	090-3732-7825

推進課名	駐在支店名	氏名	携帯番号
中部北推進課 課長 錦織 教子	四絡支店 ☎22-1054	三原 絵 里 子	090-3732-7981
		矢田 絵 梨	090-3732-8004
		西尾 賢	090-3732-8040
		本池 怜 雄	090-3732-8047
		脇坂 幸	090-3732-8117
		山根 滉 大	090-3732-8146
	川跡支店 ☎21-0178	伊藤 迪 子	090-3732-8303
		松本 達 也	090-3732-8340
		山口 実 矢 子	090-3732-8514
		花岡 裕 樹	090-3732-8646

推進課名	駐在支店名	氏名	携帯番号	
東部ブロック推進課 課長 落合 由男 マネージャー 竹内 信雄	平田中央支店 ☎63-3650	竹内 信 雄	090-3732-8675	
		村松 咲 穂	090-3732-8685	
		渡部 一 宏	090-3732-8747	
		久家 良 子	090-3732-8856	
		北村 卓 也	090-3732-8884	
		馬庭 拓 也	090-3732-8954	
		遠藤 み く	090-3732-9167	
		高橋 め ぐ み	090-3732-9299	
		石原 陽 子	090-3732-9323	
		田中 理 恵	090-3732-9374	
		西田支店 ☎63-3653	常松 正 樹	090-3732-9766
			坂本 真 理 子	090-3732-9799
	吉清 結		090-3732-9877	
	平田東支店 ☎67-0121	釜屋 寛 子	090-3733-0277	
		常松 明 希	090-3733-0297	

推進課名	駐在支店名	氏名	携帯番号
西部ブロック推進課 課長 石飛 隆幸 マネージャー 柳楽 俊介	高松支店 ☎21-0610	坂本 江里香	090-3733-0356
		水師 香菜	090-3733-0579
		山崎 邦裕	090-3733-0873
		神田 智史	090-3733-0898
	長浜支店 ☎28-0002	大野 晃裕	090-3733-0997
		澄田 亨	090-3733-1305
	大社支店 ☎53-5555	柳楽 篤志	090-3733-1377
		勝部 めぐみ	090-3733-1535
		花田 宏美	090-3733-1584
		岡 裕司	090-3733-1694
	荒木支店 ☎53-2315	柳楽 俊介	090-3733-1791
		高橋 知子	090-3733-1863
		竹田 原大	090-3733-1883
錦織 純子		090-3733-1946	

推進課名	駐在支店名	氏名	携帯番号
河南ブロック推進課 課長 長岡 繁 マネージャー 田中 洋一	神戸川支店 ☎21-0681	小豆澤 徹	090-3733-2066
		天野 芙紀子	090-3733-2140
		田辺 加奈子	090-3733-2298
		藤林 浩正	090-3733-2438
		藤井 美穂子	090-3733-2547
		後藤 久士	090-3733-2601
	湖陵支店 ☎43-2231	原 愛美	090-3733-2801
		片寄 大介	090-3733-2979
		田中 洋一	090-3733-3174
		矢田 昭夫	090-3733-3634
	多伎支店 ☎86-2311	板垣 加奈	090-3733-4167
		曾田 大介	090-3733-4316

推進課名	駐在支店名	氏名	携帯番号
南部ブロック推進課 課長 高野 真哲 係長 天喰 智徳	朝山支店 ☎48-0206	名原 鈴佳	090-3733-4359
		福田 昌平	090-3733-4529
		千葉 勝	090-3733-4737
	佐田支店 ☎84-0211	有富 良介	090-3733-4909
		黒田 真弘	090-3733-5041





出雲市神西地区

ふの としのり やの あつし
 代表 布野 稔典さん (47歳) 矢野 篤さん (51歳)
 ふの まさし あまの しょうた
 布野 雅士さん (41歳) 天野 翔太さん (35歳)

陸上教室を通して地域貢献

神西Jr.アスリートクラブの指導を手掛ける、布野稔典さん、矢野篤さん、布野雅士さん、天野翔太さんは現役の消防士。同クラブは、陸上を通じたスポーツ技術及び体力の向上や、心と体の健康づくりを目的に神西小学校の児童らを対象に2006年に立ち上げ、毎週水曜日に神西小学校校庭で陸上教室を開催しています。

活動をしていく中で嬉しかったことは、卒団した子どもたちが、自分の子どもを連れて入団してくれたり、一緒に練習に参加したり、県大会などの結果をいち早く教えてくれることです。今年は、指導者4人で3年ぶりに「えびすだいこくマラソン」に参加しました。完走した時に、100kmの道のりは苦しいこともあるけれど、改めてスポーツは楽しいということを実感しました。

クラブの代表を務める布野稔典さんは「育てていただいた恩返しも含め、今後も活動を通じて顔の見える関係を築いていきたいです。子どもたちの沢山の笑顔で、神西地域がさらに盛り上がってくれることを願っています」と話してくださいました。



左から布野稔典さん、矢野篤さん、布野雅士さん、天野翔太さん

健康ライフかわら版



野外活動

草刈り

や などをする時には、マダニに気をつけましょう!

野山や畑にいるマダニに咬まれることで感染する病気に日本紅斑熱があります。島根県では北山山系に発生が多いと言われてきましたが、近年は出雲市内全域で確認されています。

日本紅斑熱の発生状況について

島根県内では、令和4年に42名の患者を確認しており、出雲市内では17名の患者を確認しています。県内・市内ともに近年では過去最多の感染者数となっています。

症状について

マダニに咬まれてから2日~1週間くらいで症状が出ます。症状は発熱(高熱)、頭痛、関節痛などを伴い、発疹が認められます。重症化すると死亡することもあります。

感染予防のためには?

野山や畑へ出かけるときや草刈りをする時には、しっかりと対策をしましょう。

子どもの感染も確認されています
 大人だけでなく、子どもへの対策も
 忘れずにしましょう

★マダニに咬まれないための対策★

1. 素肌を出さないように、長袖、長ズボンを着用
2. 虫よけスプレー(忌避剤)を活用する
3. 地面に直接寝転んだり、腰を下ろしたりしないよう敷物を敷く
4. 帰宅した後はすぐに入浴し、身体をよく洗い新しい服に着替える

マダニに咬まれてしまったら

マダニが皮膚に咬みついて取れないときは、医療機関(皮膚科など)で処置してもらいましょう。無理に取ろうとするとマダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあります。

マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、早めに医療機関へ電話・受診をしましょう。

お問い合わせ先 出雲保健所 衛生指導課 TEL 21-1185

おたより広場

読者のみなさんからの投稿コーナーです。最近あった「楽しかったこと」「最近思うこと」「感動したこと」…ぜひお聞かせください。写真や絵手紙・イラストも大募集!!

〒693-8585
出雲市今市町106番地1
JAしまね出雲地区本部内
「広報誌JAしまねびより」編集係 宛
☑メールでの投稿も大歓迎!
izumokouhou.izm@ja-shimane.gr.jp

●食事はバランスよく摂りたいと思
い、サラダやポトフなどをよく作り
ます。しかし、どうしても主菜は肉
になりがちで魚を食べるにはどうし
たら良いか知りたいです。

(荒茅町 S・Iさん)

JA: おたよりありがとうございます。ど
うしても魚は捌く作業が手間
になってしまいますよね。我が家は
よくサーモンの切り身を買ってき
て、「ちゃんちゃん焼き」を作りま
す。野菜も摂取できて魚も食べるこ
とができるのでお勧めです☆

●しまねびよりを楽しく読ませてい
ただいております。6月号のレシピ
に挑戦してみました。材料も家にあ
るものでしたので2日間にわけて作
りました。自分なりに満足できるお
味でした。これからも続けてみたい
と思います。レパートリーが増えて
喜びました。

(今市町 E・Oさん)

JA: しまねうれしびを活用してい
ただきありがとうございます。毎日
の献立を考えるのは大変ですよ。毎
日これからもアレンジ料理を掲載し
ていきますので他のページもあわせ
てご愛読のほどお願いします。

●健康散歩の「水を飲もう」の記事
は大事なことです。朝、一杯の水
を飲むのを忘れて救急車のお世話に
なったことがあります。一杯の水、
大切です。

(塩治町 Y・Kさん)

JA: 7月になり、暑さもこれから
厳しくなっていますよ。寝てい

る間に汗などで水分が身体から知
らない間に出ていく事も注意が必要
ですね。のどが渇いていなくても無
理のないところでこまめに水分を摂
ることなど気を付けたいです。

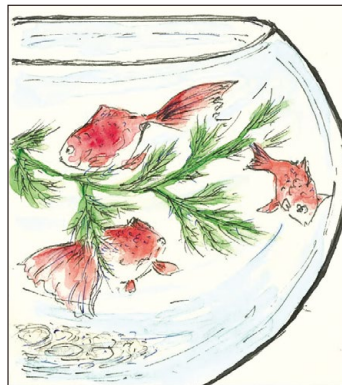
●この前女性部でお出かけしまし
た。絲原記念館、奥出雲の舞茸工
場、そば打ち体験や玉峯山荘での
食事など新しいことをいっぱい吸
収した楽しい一日でした。皆さん
に感謝です。

(国富町 N・Mさん)

JA: コロナウイルスも5類に移行
して色々な制限が緩和されてしま
した。そば打ち体験・・・私もたま
にそばを打ちます。太く切ってし
まったりして難しいですが自分で
打ったそばは格別です。楽しい一日
研修になってよかったです。



ひらひら金魚
がラスの中は
別世界



(塩治町 三浦田紀子さん)

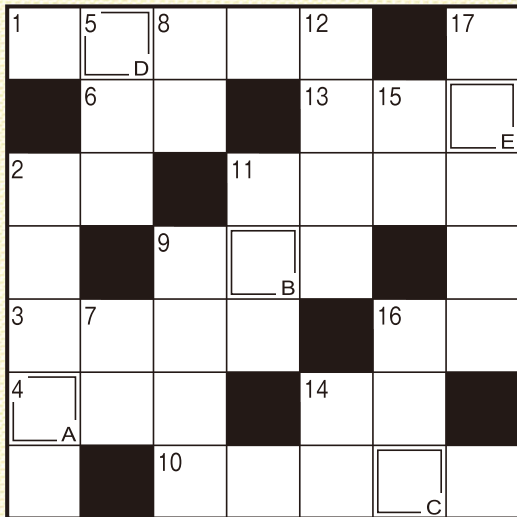
JA: 色彩豊かな金魚の絵手紙を頂
きました。金魚の泳ぐ姿や水面の揺
らぎを眺めていると日頃の喧騒を忘
れて心の平穏を取り戻すことができ
そうです。





二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タテのカギ

- ②パラシュートともいいます
- ⑤法やルールなどに背くこと
- ⑦イタリアの1つ前の通貨単位
- ⑧「あかつき」や「白鳳」などの品種があります
- ⑨日暮れ頃にザーッと降ります
- ⑪読売ジャイアンツの本拠地は東京——です
- ⑫植物に水やりをするときに使う道具
- ⑭陰（いん）の反対語
- ⑮毎度、バカバカしいお笑いを——
- ⑯紙幣や貨幣を入れます
- ⑰カレンダーに「FRI」と書かれていることも

ヨコのカギ

- ①京都の五山送り火で、最もよく知られた形の送り火
- ②エビネもカトレアもこの花の間
- ③肥料の3要素の1つ。元素記号はK
- ④どのドレッシングで食べようかな
- ⑥骨切りをする細長い魚
- ⑨イタリアの現在の通貨単位
- ⑩山の頂上と麓の間
- ⑪一緒に暮らしています
- ⑬突破して決勝に進みます
- ⑭夕空に輝く——の明星
- ⑯歌謡曲で一番盛り上がる部分のこと

応募要項

● 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

● 賞品

正解者の中から抽選で40名（J Aしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

● 当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

● 宛先・締切

〒693-8585 出雲市今市町106-1

J Aしまね 出雲地区本部 ふれあい福祉課 「クイズ」係

2023年8月4日（金）（当日消印有効）

◆ 先月号の答え ◆

「ヒヤケドメ」



俳句の広場

最優秀賞

母の日やもんぺ姿の記憶のみ

邑南町 山塚 豊子様

優秀賞

小康の夫と草引く雨上がり

出雲市 小豆澤典子様

ふだん着も明るい色に更衣

出雲市 北村 功様

夕闇にとけこむやうに河鹿笛

兵庫県 小田 慶喜様

佳作

平凡な一日終へて豆ごはん
 母の日を祝ってあげる母がいる
 老鶯の競演しきり峽住まひ
 仁王門くぐれば寺領栗の花
 春愁や部分入歯のもどかしく

浜田市 三沢 孝子様
 益田市 竹田 数子様
 津和野町 田中とよし様
 出雲市 森脇 英徳様
 安来市 斎藤美重子様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」8月号 定価629円
 ご購読はお近くのJAへお問合せください。



J Aしまねびより、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）8月号は川柳を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、メールのいずれかでご応募ください。
 ※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
 ※応募作品の一切の権利は、J Aしまねに帰属するものとします。
 ※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
 J Aしまね ふれあい福祉課
 「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
 F A X : 0852-67-7708
 Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。



JALしまね 総合ポイントカード「おさいふカード」会員様へ

優待割引のお知らせ



JALしまね ×



PARIS MIKI

メガネ一式
10%OFF!!
補聴器
5%OFF!!

＝PARIS MIKI＝
Collection

フレームもレンズも
フィッティングも全て込み込み。
選べる高品質レンズ付(超薄型/遠近)

¥13,200～ (税込)

- 程よくトレンドを取り入れた多彩なデザインの**高品質フレーム**
- 有名メーカーと共同企画したパリミキオリジナルの**選べるレンズ**
- 上級視力測定技術者が在籍するパリミキだからできる**フィッティング**

ご利用の際には、提携店舗にておさいふカードをご提示ください。

提携店舗 島根県内パリミキ全店

※他の割引が併用できない商品・サービスが一部ございます。詳しくは係員にお尋ねください。

お問合せ



JALしまね 本店経済部経済課 [TEL] **0853-25-8912**

ラストイヤー トロッコ列車「奥出雲おるち号」に乗る

奥出雲「豆腐作り体験」
玉峰山荘での昼食 **日帰り**



旅行代金

(大人お一人様・JR松江駅又はJR出雲市駅発着・税込)

13,500円

※小人代金(小学生以下):お一人様1,000円引きとなります
※小人のお食事は「お子様メニュー」となります。

募集人員

各班20名様

(最少催行人員各班16名様)

添乗員

同行いたします

食事条件

昼食1回

利用バス会社

仁多観光又は一畑バス
(バスガイドは同行いたしません)

旅行出発日 令和5年

JR松江駅発着 **8/25(金)・8/26(土)・9/22(金)**

JR出雲市駅発着 出雲市駅からの延長運転日 **9/23(土)・9/24(日)**

行 程		◎入場観光、○下車観光、△車窓観光	食事
JR松江駅発着	JR松江駅南口(9:00)	＝大東(9:30)＝	朝 × 昼 ○ 夕 ×
JR出雲市駅発着	JR出雲市駅北口(8:45)	＝宍道駅経由 出雲市駅よりトロッコ列車乗車	
＝木次駅＝トロッコ列車「奥出雲おるち号」＝三井野原駅＝			
＝○舞茸奥出雲・延命水(お買物)＝玉峰山荘(昼食)＝			
お一人様200グラム×3つ作ります!			
＝◎奥出雲とうふ・いしだ(豆腐作り体験)＝○奥出雲漬菜 松葉屋(お買物)＝			
JR松江駅発着	＝大東(17:00)＝JR松江駅南口(17:30)		
JR出雲市駅発着	＝JR出雲市駅北口(17:30)		



玉峰山荘 昼食 イメージ

掲載ツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。

※詳しい旅行については、専用パンフレットをご用意しています。お気軽に下記販売店へご請求ください。



株式会社 農協観光

詳しくは
コチラから



山陰支店 TEL 0852-26-2600

lapita beer garden

バーベキュー
ビアガーデン

ラピタ屋上 星空ガーデン OPEN!!

全てのプランにご飯食べ放題、
(出雲産・きぬむすめ使用)
ソフトドリンク
飲み放題付!
(アルコール飲料
飲み放題は
別途料金)

会場チェックは
Instagramで!

期間 2023年9月30日(土)まで
17:30~21:00 (食べ物ラストオーダー 20:30)

場所 ラピタ本店 屋上
お席は、テント席・座敷席、アウトドア席、オープン席より選べます。
雨天の場合はテント席のみご利用が可能です。

予約はこちらから 予約割引あり! 24時間自動受付

インターネットでの
予約はぐるなびから

レギュラープラン
予約金 ¥1,980円(税込)
当日注文 ¥2,480円(税込)

お電話での予約・お問い合わせ先 Tel.050-5486-3296 | 9:00~17:00 受付

7月は毎日がお得!!

日曜日 お酒 | 月曜日 日用雑貨

火曜日 冷凍食品10倍

水曜日 **野菜の日** 野菜・農産物直売コーナー

木曜日 **肉の日** 国産豚肉

金曜日 **魚の日** お刺身

土曜日 お米・アイスクリーム

ポイント各5倍

一部対象外がございますので、詳しくは店頭でご確認ください

ふるさとのなつかしい島根の味をお届けします。

ラピタの お申元

セール期間 8/16(水)まで

たっぷりの果汁と上品な甘さ

二十世紀梨

※玉数欄に複数表示のある商品は玉数の指定は出来ません。
いずれか、の出荷になります。

ご予約承り中

8月下旬頃~
9月中旬頃
出荷予定

2023夏

盆提灯 展示即売会 開催中

8/11(金・祝)まで

おさいふカード
ポイント付与
家紋入れサービス
(3万円以上)

時間: 10時~17時まで
場所: ラピタ本店2階 エスカレーター横

月・木曜日は休店日
(但し、ポイント5倍デーの5のつく日及び8月は休まず営業いたします)

ラピタの夏休み企画

♪ ラピタ&オタフクソース共同企画 ♪

夏休み いろんなトッピングを楽しもう!

親子お好み焼教室



- 応募方法** オタフク商品を含む2,000円以上(複数枚による合算可)のレシートを店内の応募箱に投函してください。
- 応募期間** 7月15日(土)~8月5日(土)
- 応募人数** 親子12組(24名)
- 開催日時** 8月19日(土)11:00~
- 開催場所** ラピタ本店2F緑
- 当選通知** 厳選なる抽選の上、当選者の方には郵送にてお知らせします。



ご応募お待ちしております

レシート応募企画

夏の夜は星空ガーデン

~ JAアグリフードサービス協賛 ~

ラピタにて2,000円以上のお買物レシートで応募し、抽選で「星空ビアガーデン」にご招待!!



- 当選人数** 50名
- 応募期間** 7月1日(土)~23日(日)
- 応募方法** 上記期間中にラピタにておさいふカードを提示してお買物をしていただき、2,000円以上(複数枚でも可)のレシートを店内備付の応募箱に投函してください。
- 当選通知** 厳正なる抽選の上、当選者の方には郵送にてお知らせいたします。

親子夏休み企画

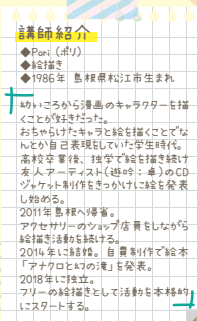
親子絵描き教室

~夏休みの宿題を楽しく終わらせよう~

小学生の夏休みの宿題にもある「絵」を、親子で一緒に楽しく描こう! 講師のPoriさんから「おえかきのコツ」を教えてもらって今までの自分よりも上手に描けるようになろう! 学校では教えてくれない、絵を描く順番や色の塗り方などを学習できます。



- 講師** Pori
- 実施日** 8/5(土) ①10:00~ ②14:00~ 8/6(日) ③10:00~ ④14:00~
- 実施場所** ラピタ3F (ブライダル 藤の間)
- 参加費** 1,000円/1家族
- 受講人数** 先着各講座30名程度
- 応募先** ラピタ 店舗企画課 TEL:21-6066



おさいふカード会員様 限定企画

お買物をしてレシートお買物券をもらおう!

ラピタ全店で 税込2,000円以上のお買物をする と 100円のお買物券を 発券いたします!



- 発券**
- 発券場所** ラピタ全店(マツモトキヨシはまやま店、催事、一部テナントは除く)
- 発券期間** 7月21日(金)・22日(土) 2日間
- 利用** 税込2,000円以上のお買上で、1精算1枚の利用が可能です
- 利用場所** ラピタ全店食品レジ(セルフレジ、催事場は除く)
- 利用期間** 8月1日(火)~10日(木)



本誌は地球環境に優しい植物油インクを使用しております。



JAしまね
公式ホームページ

JAしまね

検索



冷しゃぶトマト和え



コメント

- ・夏の太陽をいっぱい浴びた元気なトマト！変形したり割れたりしても小さく刻めば美味しさは同じ！
- ・豚肉は、沸騰した湯より低い温度の湯にくぐらすと固くならず、ふっくらと火を通すことができます。

材料（4人分）

- 豚ロース(しゃぶしゃぶ用)… 200g
 トマト(大)…… 2個(500g)
- A
 きゅうり…………… 1本
 オクラ…………… 2本
 青しそ…………… 5枚
- B
 大根(すりおろし) …… 250g
 オリーブ油…………… 大さじ1
 しょうゆ…………… 小さじ1
 塩…………… 小さじ1
 粗挽き黒胡椒…………… 適量

作り方

- ①トマトの1個は1cmの角切りにし、もう1個は粗みじん切りにする。
- ②きゅうりは薄く輪切りにする。
- ③オクラは塩で板ずりしてから、サッと茹でて水に取り、食べやすい大きさに切る。
- ④青しそは千切りに、大根はすりおろす。
- ⑤豚肉は半分に切り、沸騰したら水を約100cc加え、弱火にして80度位の温度のお湯にくぐらせて火を通し、取り出してそのまま冷やす。
- ⑥ボウルにみじん切りにしたトマトとBを入れて混ぜる。
- ⑦⑥にトマトの角切りと豚肉、Aを入れて混ぜ合わせる。

アレンジ

- ・色とりどりの夏野菜をサッと茹でたり、炒めたりして一緒に混ぜれば、目にも鮮やかな一品に！
- ・肉のゆで汁に春雨、人参のせん切り、オクラ、溶き卵などの具材を入れたら簡単スープに早変わり。

材料（4人分）

- 鶏むね肉…………… 2枚
- A
 小麦粉…………… 大さじ2
 塩…………… 小さじ1/2
 カレー粉…………… 小さじ1
 サラダ油…………… 大さじ1
 玉ねぎ…………… 1玉
 しめじ…………… 1袋
 トマト…………… 1個
- B
 塩…………… 小さじ1/2
 胡椒…………… 少々
 レタス…………… 5～6枚

作り方

- ①鶏肉は皮を取り、1cmの厚さのそぎ切りにする。
- ②玉ねぎは薄切りに、しめじは石づきを除いて小房に分けておく。
- ③トマトは1cm角に切る。
- ④ビニール袋にAと①の鶏肉を入れて振り、油を熱したフライパンで両面焼いて中まで火を通し、取り出しておく。
- ⑤④のフライパンに玉ねぎ、しめじを入れて炒め、玉ねぎが透き通ってきたら、トマトとBを加えて味つけする。
- ⑥皿にレタスを敷いて鶏肉を並べて盛り、⑤の炒めた野菜を上のにせる。

鶏肉のカレーソテー野菜炒め添え



アレンジ

- ・鶏むね肉を豚ヒレ肉や白身魚、水切り豆腐、厚揚げに替えても美味しくできます。
- ・ナス、ピーマン、ズッキーニ、小松菜、ゴーヤ、カボチャなどいろいろな野菜と組み合わせると楽しめます。

コメント

- ・たくさんのスパイスが詰まったカレー粉は、食欲増進、疲労回復などの効果が期待でき、夏にぴったり！
- ・鶏むね肉は脂肪分が少なく、良質なたんぱく質を豊富に含んでおり、筋肉疲労の改善に期待が持てます。

健康散歩

食中毒

食中毒の原因には細菌やウイルスがありますが、梅雨時から9月頃までは高温多湿な状態が続く、細菌による食中毒が多く発生します。食中毒を招く細菌が増殖しても、食べ物の見た目や味は変わらず臭いもしません。そのため食事の準備をするときは「細菌をつけない」「細菌を増やさない」「加熱などでやっつける」ことを心がけ、食中毒を防ぎましょう。

STOP! 食中毒



食中毒予防の3原則

- ①つけない（菌を他の食品に付着させない）
 食材を取り扱う前と後に、手指をしっかりと洗いましょう。手のひら、手の甲、指、爪、手首までせっけんを泡立てて洗い、流水で十分に洗い流すことが大切です。また肉や魚はポリ袋やラップでしっかり包んで冷蔵庫に保存しましょう。

- ②増やさない（菌が増殖する環境に置かない）
 冷蔵品や冷凍食品はすぐに冷蔵庫、冷凍庫に入れましょう。また、食品を詰め込みすぎると温度が高くなってしまいます。冷蔵庫は10℃以下、冷凍庫はマイナス15℃以下に保ちましょう。ただし、冷蔵庫に入れておいても細菌が死滅するわけではありません。長期間にわたる保存は避け、早めに使い切るようにしましょう。
- ③やっつける（殺菌、消毒して死滅させる）
 多くの細菌は、75℃以上で1分以上加熱することで死滅します。十分に加熱処理すれば、ほとんどの食中毒は防ぐことができます。食材の中心部までしっかり火を通すようにしましょう。また、使用後の調理器具の殺菌には塩素系漂白剤に含まれる次亜塩素酸ナトリウムが有効です。ただし、食品カスが残っていると消毒力は失われますので、調理器具を洗剤でよく洗った後に使いましょう。



【編集後記】 今月号は直売所について特集しました。直売所にはスーパーなどには出回っていない珍しい野菜や果物があつたりするので、買い物や遠出する時についつい寄ってしまいますね。直売所で買い物をする＝地産地消にもつながります。ぜひこの機会に地域の魅力がたっぷり詰まった直売所へおでかけしてみたいかがでしょうか…♡(古)